

警察署協議会議事録

協議会名	令和5年第2回宮城県登米警察署協議会
開催日時	令和5年6月14日（水）午後3時30分から 午後5時00分まで
開催場所	登米警察署 大会議室
出席者等	<p>1 協議会委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出席委員～大崎会長、阿部副会長、佐々木委員、渡邊委員</li> <li>・ 欠席委員～なし</li> </ul> <p>2 警察署側</p> <p>署長、次長、会計課長、警務課長、生活安全課長代理、地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長代理、警務課員</p>
議事概要	別紙のとおり
備考	

備考 所定の欄に記載することができないときは、別紙に記載の上、添付すること。

## 別 紙

### 1 報告事項等

#### 令和5年5月末現在における管内の治安情勢について（署長）

##### (1) 刑法犯認知件数

刑法犯認知件数は16件であり、前年比－3件と減少している。

内訳は暴行2件、窃盗犯9件、詐欺等2件、住居侵入等3件である。

窃盗犯9件のうち、重要窃盗と言われる侵入窃盗の発生5件については、商店街の出店荒らし3件、空き巣等の家屋対象の侵入窃盗2件の被害が発生している。

住居侵入等3件のうち1件は、被害発生直後に被疑者を逮捕している。

##### (2) 刑法犯検挙件数

刑法犯検挙件数は8件であり、前年比＋5件と増加している。

世間の耳目を集めるような大きな事件は発生していないが、住民の方々の身近で不安に感じるような事件を、刑事課が中心となって着実に検挙している。

##### (3) 特殊詐欺被害対策（刑事課長）

当署管内では、2月に携帯電話を操作中、融資サイトを見つけた被害者が、保証金を送れば融資を受けられるとだまされ、現金5万円を送金した融資保証金詐欺が1件発生している。

被害防止に向けた取り組みとして、登米警察署特殊詐欺対策プロジェクトチームを立ち上げ、各課それぞれの業務を通じて防犯活動に取り組むなどし、部門の垣根を越えて防犯対策を推進している。

また、被害者の中には、防犯広報を聞いた経験があつたにもかかわらず、詐欺と見破ることができなかつた方がいることから、宮城県警察本部制作の「特殊詐欺被害を防止するために」と題した広報用DVDを行政区長や民生委員等に配布して、より多くの住民の目に付く場所で上映を依頼するなど、被害防止意識の高揚を図れるように取り組んでいる。

##### (4) 特別法犯検挙状況等

現在まで福祉犯被害の発生はないものの、少年補導は「深夜はいかい」1件が発生している。

また、著作者の承諾を受けずに映画著作物をインターネット上に不法にアップロードしたサイバー事犯1件を検挙している。

##### (5) ストーカー事案取扱状況

認知件数は2件であり、いずれも口頭指導を実施している。

##### (6) DV事案取扱状況

認知件数4件のうち、3件については口頭指導を実施しているが、残り1件は被害者の意向により避難等の安全措置を講じ、口頭指導等は実施していない。

##### (7) 児童虐待取扱状況

2件認知し、2名の児童を児童相談所に通告している。

種別は2件とも心理的虐待である。

(8) 犯罪抑止対策

児童に対する犯罪抑止対策として、少年補導員協会から管内全ての小学校の新入生全員に対し防犯ブザーを進呈した。

特殊詐欺被害防止対策として、高齢者に対し特殊詐欺の手口や発生状況、特殊詐欺電話撃退装置による被害対策等の説明を実施した。

少年非行防止活動として、管内の高校生に対し少年補導員協会と合同で朝の挨拶運動を実施した。

管内の小学校に対し、不審者対応訓練を実施した。

(9) 宮城県内の交通事故発生状況

本年は1,599件（前年比-92件）発生している。

(10) 宮城県内の交通死亡事故の主な特徴

交通死亡事故は5月末現在17件19名で、前年と比べ+2件+4名増加している。

全交通死亡事故の4割以上が高齢運転者による事故である。

交通死亡事故17件中8件が自転車をはみ出したことが要因となった事故であり、前年と比較して+2件と増加している。

(11) 登米警察署管内の交通事故

昨年5月に発生した交通死亡事故を最後に、現在まで交通死亡事故ゼロを継続している。

5月末現在の人身事故の発生件数は4件（前年比±0件）、人身事故の重傷者1名（前年比+1名）、人身事故の軽傷者3名（前年比-1名）、物件事故の発生件数83件（前年比+7件）である。

(12) 交通指導取締り状況

危険性のある交通違反を重点として交通指導取締りを推進しているため、前年の346件と比較して本年は363件（+17件）と、取締り件数が増加した。

(13) 宮城県内及び管内の運転免許保有者数

・ 宮城県内の総免許人口	154万0,993人
・ 登米警察署管内の免許人口	1万3,658人
内65歳以上	5,068人
・ 宮城県内運転免許自主返納数	2,429人
・ 登米警察署における自主返納数	10人

2 速度取締り指針（交通課長）

(1) 登米警察署取締り重点

(2) 登米警察署管内における人身事故実態等

3 登米警察署における特殊詐欺被害防止対策について

(1) 特殊詐欺電話撃退装置について

生活安全課長代理から、特殊詐欺電話撃退装置の貸出し状況や補助金の説明及

び装置の実演を実施した。

(2) DVD上映

宮城県警本部制作広報用DVD「特殊詐欺被害を防止するために」を上映した。

4 報告事項への質問・意見について

佐々木委員

豊里町地内の刑法犯認知件数が多い理由は何か。

署長

豊里町は他署管内と隣接しており、また主要駅があるなど、他の町と比べ人口が多いことが原因の一つと考えられる。

佐々木委員

親子間の暴行について、昔は親が子を叩いてしつけすることが普通であったため、未だその考えが抜けていない人もいることから、地域住民への広報が必要なのではないか。

生活安全課長代理

子の教育やしつけは、時間をかけて対話する事が必要である。

昔と比べ、現在は役所や児童相談所、警察等様々な機関で相談窓口を設けていることから、周りに相談することの必要性を広報していきたい。

渡邊委員

夫婦喧嘩が児童虐待に当たることを保育園等の教育機関で指導されたことはないことから、他の地域住民も知らないのではないか。

講演等の機会があれば、児童虐待の種別等について広報してほしい。

署長

あらゆる機会を通じて広報を実施していく。

阿部委員

先日、津山町管内でクレーン車の横転事故が発生し運転手が死亡したが、なぜ交通死亡事故に計上されないのか。

署長

交通事故が原因で運転手等が亡くなったものを交通死亡事故として計上しており、その他の原因で亡くなった事故は交通死亡事故として取り扱っていない。

5 要望・意見

阿部委員

津山総合支所の前に横断歩道を設置してほしい。

津山小学校と横山小学校が統合したことにより、登下校で津山総合支所前のバス停を利用する小学生が遠くの横断歩道を利用している現状である。

交 通 課 長

要望として受理し、設置の可否について検討をさせていただく。

阿 部 委 員

長野県で猟銃使用の殺人事件が発生したが、登米署管内ではどれくらいの人が猟銃等を所持しているのか。

また、1人何丁まで銃を所持してよいのか。

生活安全課長代理

当署管内で猟銃等を所持しているのは約40人いる。

また、所持できる銃の丁数に制限はないが、一人で複数の銃を所持する必要性について説明を求めている。

なお猟銃所持の許可申請では、欠格事由に該当する場合は許可が下りない。

申請の際は、申請者への確認のほか近隣住民等から聞き取りを実施するなど、調査を行っている。

渡 邊 委 員

管内の高校生が、横断歩道を使わずに道路を横断している状況をよく目にする。

雨天時に保護者が生徒を車で送迎しており、それぞれ好きな場所で降車させているので、生徒が道路を横断する場所も様々で危険である。

学校に指導していただきたい。

交 通 課 長

学校に指導を実施するほか、交通安全教室等で生徒に直接指導をしていく。

## 6 次回の開催予定

次回の警察署協議会の開催は10月下旬から11月上旬を予定している。